

令和 2 年 2 月 21 日更新

★事務事業の概要（PLAN）

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	件	8	10	4	7	4	4	4	0		
	千円	13,061	10,091	5,000	31,893	8,000	251,500	8,000	0		
② 対象指標	千人	542	524	530	448	530	530	530	0		
③ 成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	0		
	%	100	100	80	100	80	80	80	0		
投入費量	事業内訳	国庫支出金	千円				10,289		94,830		
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円				23,600				
		その他	千円	689				2,077			
		繰入金	千円					100,000			
		一般財源	千円	25,051	18,937	11,359	28,107	17,260	40,470	15,000	15,000
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	25,740	18,937	11,359	61,996	19,337	235,300	15,000	15,000
		(A)のうち指定経費	千円	1,208	1,503	35	35	35	1,535	1,535	1,535
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	2	3	3	3	3	0
	人件費	延べ業務時間	時間	1,160	1,720	300	1,600	600	600	600	0
		(B)人件費計	千円	0	6,804	1,195	6,307	2,390	2,390	2,390	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	25,740	25,741	12,554	68,303	21,727	237,690	17,390	15,000

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☒ 達成した 適切に改修工事を実施し、対応したため。 ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 施設の老朽化が進んでいるが、点検を徹底し、改修の必要性がある部分を洗い出し、計画的に改修を実施することで、適切な維持管理を行なうことができる。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い、今後施設の維持管理上の修繕要望は予想されるため向上の余地はある。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 施設運営については専門的な管理技術が必要であり、その手法として、指定管理者へ委託を行ったため他の方法はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理委託料については、創意工夫を生かした管理者による運営により、指定管理期間の5年をかけて少しずつ減少させていくところである。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理者と打合せながら業務を進めるため、必要最低限の人員であり、削減余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 利用者は、サービスの対価として利用料金を支払うため公平公正である。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市の施設であるため、その施設の維持管理は当然行政が行なわねばならない。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

30万円を超える工事に関しては本市が行なうこととなっており、指定管理者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）			(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										